

AYUMI ニュースレター（号外）

AYUMI 研究の登録が 10,000 例突破しました!!

研究代表者 秋田大学 山田 祐一郎

お世話になります。2014年6月よりスタート致しましたAYUMI研究ですが、先生方のお力添えを頂き、目標登録例数の10,000例に無事到達しました。ひとえに先生方の努力の賜物と存じております。誠にありがとうございました。SGLT2阻害薬発売当初は、予測できない有害事象等の発現もあり、症例登録が思ったように進みませんでした。しかし、「SGLT2阻害薬の適正使用に関する委員会」からSGLT2阻害薬の適正使用に関するRecommendationが策定され、先生方に適正に使用して頂くことが可能となったことも功を奏し、目標例数に到達したのではないかと考えております。本研究は2年間のフォローアップで安全性をメインに検討する観察研究になってまいりますので、先生方にはご登録された患者さんに発現したあらゆる好ましくない症状および徴候（有害事象）を調査頂き、併せてSGLT2阻害剤トホグリフロジンとの因果関係が否定できないものを副作用として評価頂きます。症例登録に関しましては、2018年の2月末まで登録可能とさせて頂きましたので、トホグリフロジンを投与された患者様が他にもおられましたら、引き続きご登録をご検討頂ければ幸いです。

10,000例という国内では最も大規模な研究者主導臨床研究で、今後のSGLT2阻害剤を日本で使用していくための大変貴重なデータになると自負しておりますので、引き続き有害事象の収集やデータ入力等にご協力を頂きたくお願い申し上げます。尚、本研究の結果は今後定期的にデータを集計して学会等で発表して行く予定でございます。是非先生方と共にこのAYUMI研究を成功させたいと思っておりますので、繰り返しになりますが引き続き日本人のエビデンス構築にご協力をお願い申し上げます。